

倉田コミュニティハウス通信

2012年6月号 NO. 67

〒244-0816 戸塚区上倉田町 1865-4 Tel/fax 045-866-1800



夏休みキッズオープンデー

作って遊ぼう！！

- ☆木・石・布・紙・・・身近な材料を使って、あっと驚くアイデア工作に挑戦してみよう！
- ☆ティピーを作って、キャンプごっこや、秘密基地にしてみよう！
- ☆おもちゃ病院・パンの売店も来るよ！！
- ☆水道局のコーナーもあるよ！



日時：2012年7月21日（土）午前10時～

★アイデア工作

募集：①10時～②11時半～③13時～ 各回小学生以下20名

費用：ひとり300円

（10枚綴りの千シート制で、好きな物を選んで作ります。）

★ティピー（インディアンのテント。新聞棒を使って作ります。）

募集：①10時～②11時半～③13時～

各回3組（親子3名以上でお申込み下さい。）

費用：無料（製作後、お持ち帰りもできます。）

申込：6月28日（木）10時から千シートを販売いたします。

電話での予約はできません。売り切れ次第締め切ります。

各回、各コーナー、数に限りがございます。ご希望に添えない場合もありますのでご了承下さい。当日、来館されない場合も返金は出来ません。車での来館はご遠慮下さい。

共催：上倉田地区青少年指導員・みなみおもちゃ病院

*キッズオープンデーは雨天も開催しますが、ティピーのみ室外で行う為、大雨の時は中止になります。ご了承下さい。

6月の予定表詳しくはお問い合わせ下さい。

日			
1(金)	抽選会	午前 10 時から 2012 年 7 月分の抽選会です。	
2・9 16・23 30(土)	3時になったら ラジオ体操プラスお茶	0歳～高齢者 どなたでもどうぞ	簡単な体操をして、その後 お茶会です。参加費 100 円です。
5(火)	1・2・3 クラブ & フリースペース	1歳～未就園児向け の子育て支援です。	申し込みは終了いたしました。 午後 0 時から 1 時まで フリースペースになります。
8・22 (金)	フルーツ講座		申し込みは終了しましたが、 ご希望の方はお問い合わせください。
9(土)	コーヒー研究会		ご希望の方はお問い合わせください。
13・20 (水)	ベビーマッサージ	0歳児向けの 子育て支援です。	ご希望の方はお問い合わせください。
15(金)	サロン上倉田	高齢者・幼児向けサロン 上倉田社協共催事業	お年寄りも大人も子供も 楽しいひと時をお過ごしください。 午前 10 時から午後 2 時まで
19(火)	0歳児クラブ	0歳児向けの 子育て支援です。	ご希望の方はお問い合わせください。
19(火)	フリースペース	親子の遊びスペース	午前 11 時から午後 0 時まで
20(水)	ぴよぴよクラブ	0～1歳半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	午前 10 時から午後 0 時まで 定員 30 組。人数によってはお断りする こともあります。活動費 50 円です。
22(金)	ハートぽっぽクラブ	1歳半～2歳半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	午前 10 時から午後 0 時 30 分まで 定員 30 組。人数によってはお断りする こともあります。活動費 100 円です。
25(月)	休館日	全館点検のためお休みいたします。	
27(水)	上倉田社協食事会	高齢者向け会食会 上倉田社協共催事業	おいしいお食事を食べて、 ゆっくりお過ごしください。 午前 11 時半から午後 2 時まで

人生とは偶然の重なりであり、それは必然のことという思いをこの歳になりつくづく感じております。私とこの倉田コミュニティハウスとの出逢いも私達の「奇跡の出逢い」から始まりました。京都の大学を卒業後、それぞれ全国にバラバラになり会うこともなく、年賀状も途絶えがちだった3人が、ふとした一本の電話から東京近郊にいることを知り、35年余の時空を越えAnd So Onとしての活動、還暦の青春がこのコミハからスタートいたしました。



月に一度のコミハ音楽室での練習もこの7月で早3年。当時の頃までとはいかないまでもようやくギターの手も動くようになり、毎月の元町でのステージ、秋のコミハ文化祭、他のライブハウス出演等をモチベーションにハード(?)な練習、終了後の反省会では音楽論、人生論、ビジネスに関して等話題はつきず、いつも楽しく激論を交わしております。反省会における毎回決まってる猛反省点は呑み過ぎですが、これだけは一向に改善の兆しが窺がえません。

古くから風流人の心得として「琴棋詩酒」というものがあるそうです。私にとって風流という言葉は全く無縁の感がありますが、せめて「琴」ギターの練習を怠ることなく、できうる限り音楽活動の継続。「棋」本来は碁を嗜むことですが、かなり昔に取った将棋四段を再開しボケ防止につなげる。「詩」詩心がなくいつもバンドリーダーから作詞くらいしろと怒られておりますが、作詞に取組み何とかオリジナル曲に貢献。「酒」これは呑み過ぎなので、歳に応じた呑み方を心得る。といったことをこれからの人生訓として、コミハで生まれるまた多くの新たな出逢いを、コミハで過ごす至福の一時を楽しみに、今後も倉田コミュニティハウスに足を運び続けたいと思っております。

《紫陽花》

スタッフのひと言



昨夜は豊橋泊まり。早朝 JR 飯田線に乗り、昨日旅を切り上げた小坂井駅に着く。ここから御油宿(ごゆ、豊川市)に向かう。途中瀟洒な喫茶店が目についたので入り、モーニングセットを注文。すると、コーヒー、トースト、卵、それに「味噌汁、あんこ」が付いてきた。

御油宿には嘗て日本近代医学の祖と言われるベルツ博士の奥さんの実家(旅籠)があった。跡地には「ベルツ夫人のゆかりの地」の案内板が掲げている。が、そこはごみ収集場。

「うーん」とため息。

御油宿を過ぎるとすぐに松並木に入る。松並木は大磯も立派だったが御油の松並木はすごい。街道の両側約 650m に亘り鬱蒼と大きな松が並んでいる。追いはぎが潜んでいても不思議はない。街道沿いの町工場のご主人はこの松並木が気に入りこの地に移り住まれたとのこと。解らないでもない。

江戸時代から営業を続けている旅籠大橋屋のある赤坂宿(豊川市)を抜け、一路次の宿場・藤川宿(岡崎市)へ、更に岡崎宿へと向かう。岡崎では家康誕生の城・岡崎城(復元)に立ち寄る。小振りながらどっしりとした構え。城の近くを矢作川(やはぎ川)が流れている。この川に架かる矢作橋は、戦国時代、日吉丸(後の秀吉)と蜂須賀小六が出会ったという伝説の橋。ところが、橋が出来たのは関が原の戦いの後とのこと。面白い昔話はそっと残しておこう。

今日の目的地である池鯉鮒宿(ちりゅう、知立市)に着いたのは6時過ぎ。この旅最長の10里の行程でした。

《N. I》